

故橋本寿朗教授の略歴と業績

(出版者 / Publisher)

法政大学経営学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

The Hosei journal of business / 経営志林

(巻 / Volume)

39

(号 / Number)

2

(開始ページ / Start Page)

51

(終了ページ / End Page)

70

(発行年 / Year)

2002-07-30

故橋本寿朗氏の略歴

略 歴

- 1946年5月2日 埼玉県に生まれる
- 1965年3月 埼玉県立不動岡高校卒業
- 1966年4月 東京大学教養部入学
- 1970年4月 東京大学経済学部卒業
- 1970年5月 東京大学大学院経済学研究科修士課程入学
- 1972年3月 東京大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 1972年4月 東京大学大学院経済学研究科博士課程進学
- 1975年3月 東京大学大学院経済学研究科博士課程修了

学 位

- 経済学修士 東京大学 1972年3月29日
- 経済学博士 東京大学 1985年1月13日
- 博士学位論文 世界大恐慌期の日本資本主義

職 歴

- 1975年4月～76年3月 日本学術振興会奨励研究員
- 1976年4月～79年3月 電気通信大学専任講師
- 1979年4月～86年3月 電気通信大学助教授
- 1986年4月～91年3月 法政大学経営学部教授
- 1991年4月～93年3月 東京大学社会科学研究所助教授
- 1993年4月～2000年3月 東京大学社会科学研究所教授
- 2000年4月1日～ 法政大学経営学部教授

賞

- 1985年4月 第25回エコノミスト賞
- 1998年7月 運輸大臣表彰

学会及び社会における主な活動等

- 1997年1月 社会経済史学会常任理事
- 1989年1月 船員中央労働委員会公益委員
- 1999年5月 海運造船合理化審議会委員
- 1999年7月 中小企業政策審議会委員

故橋本寿朗氏の業績

著 書

- 1984年 『大恐慌期の日本資本主義』 東京大学出版会
1991年 『日本経済論：二十世紀システムと日本経済』 ミネルヴァ書房
1995年 『戦後の日本経済』 岩波書店
2000年 『現代日本経済史』 岩波書店
2001年 『戦後日本経済の成長構造』 有斐閣
2002年 『デフレの進行をどう読むか』 岩波書店

共 著

- 1991年 『セゾンの歴史 下巻 セゾンの発想』 リプロポート
1998年 『現代日本経済』 有斐閣
2000年 『近代日本経済史』 岩波書店

編 著

- 1996年 『20世紀資本主義Ⅰ 技術革新と生産システム』 東京大学出版会
1996年 『日本企業システムの戦後史』 東京大学出版会
2001年 『歴史から見直す現代日本経済』 平凡社

共 編 著

- 1985年 『両大戦間期 日本のカルテル』 御茶の水書房
1992年 『日本経済の発展と企業集団』 東京大学出版会
1995年 『革新の経営史：戦前・戦後における日本企業の革新行動』 有斐閣
1997年 『日本型産業集積の未来像』 日本経済新聞社
2000年 『規制緩和の政治経済学』 有斐閣

主たる論文等の業績

1974年

- 4月 (論文) 「第一次大戦期における造船資本の蓄積構造」『土地制度史学』63号
8月 (論文) 「1920年代の造船市場」『社会経済史学』40巻2号
12月 (論文) 「資本形態論の展開方法について」(東京大学)『経済学研究』17号

1975年

- 4月 (論文) 「1920年代における造船資本の蓄積構造」『土地制度史学』67号
10月 (学会報告) 「満州事変期の造船工業」土地制度史学会第18回大会

1976年

- 8月 (論文) 「1920年代における独占的造船資本の蓄積過程」(電気通信大学)『学報』27巻1号
- 11月 (学会報告) 「「五大電力」体制の成立と電力市場の展開」土地制度史学会第19回大会

1977年

- 2月 (論文) 「「五大電力」体制の成立と電力市場の展開(1)」(電気通信大学)『学報』27巻2号
- 8月 (論文) 「「五大電力」体制の成立と電力市場の展開(2)」(電気通信大学)『学報』28巻1号
- 12月 (論文) 「1920年代の硫安市場」『社会経済史学』43巻4号

1978年

- 2月 (論文) 「「五大電力」体制の成立と電力市場の展開(3・完)」(電気通信大学)『学報』28巻2号
- 3月 (論文) 「両大戦間期における硫安工業の展開」『協同組合奨励研究報告』第3輯
- 5月 (論文) 「重化学工業と独占」『社会科学の方法』11巻5号
- 5月 (会社史) 日本経営史研究所『経済団体連合会三十年史』第2章, 第4章第4・5節, 第5章
- 6月 (論文) 「戦間期における重化学工業の展開」大谷瑞郎・斉藤稔・日高晋・戸原四郎編『マルクス経済学』東京大学出版会
- 8月 (論文) 「1930年代の造船工業(1)」(電気通信大学)『学報』29巻1号

1979年

- 2月 (論文) 「1930年代の造船工業(2)」(電気通信大学)『学報』29巻2号
- 7月 (書評) 山崎隆三編『両大戦間期の日本資本主義』(東京大学史学会)『史学雑誌』88編7号
- 7月 (論文) 「戦後における電力業の展開」平和経済計画会議『現代資本主義と公企業—国民の独占白書第3号』御茶の水書房
- 8月 (論文) 「1930年代の造船工業(3・完)」(電気通信大学)『学報』30巻1号
- 11月 (論文) 「独占と独占組織—再び高村説をめぐって—」『社会科学の方法』12巻11号

1980年

- 1月 (論文) 「硫安独占体の成立」(東京大学経済学会)『経済学論集』45巻4号, 44-68頁
- 2月 (論文) 「転換期の鉄鋼業」『経済評論』29巻2号
- 6月 (論文) 「1970年代の機械工業」『機械経済研究』機械振興協会, 13号
- 9月 (論文) 「世界経済の中の日本資本主義」桜井毅・山口重克・佐美光彦・伊藤誠編『経済学Ⅱ』有斐閣
- 9月 (論文) 「日本経済論の方法」桜井毅・山口重克・佐美光彦・伊藤誠『経済学Ⅱ』有斐閣
- 10月 (学会報告) 「重化学工業化と資本の組織化」(共通論題) 社会経済史学会50周年記念大会
- 11月 (書評) 東京大学社会科学研究所編『戦時日本経済』(東京大学)『社会科学研究』32巻3号

1981年

- 1月 (論文) 「階級的統合力は解明されたか—J・ハリデイ『日本資本主義の政治史』について—」『クライシス』6号
- 6月 (論文) 「第二次高度成長期の日本機械工業」『機械経済研究』機械振興協会, 14号
- 7月 (書評) 高村直助『日本資本主義史論』『土地制度史学』92号
- 8月 (会社史) 日本経営史研究所『小野田セメント百年史』戦後編第3章, 第4章, 第5章
- 8月 (論文) 「1930年代における日本資本主義の蓄積機構(1)」(電気通信大学)『学報』32巻1号
- 10月 (論文) 「第二次世界大戦と日本資本主義」『クライシス』9号
- 11月 (論文) 「石油市場の寡占機構」平和経済計画会議『石油:メジャー・国家・独占—国民の独占白書第5号』御茶の水書房

1982年

- 2月 (論文) 「1930年代における日本資本主義の蓄積機構 (2)」(電気通信大学) 『学報』32巻2号
 2月 (論文) 「1930年代における日本資本主義の蓄積機構 (3)」(電気通信大学) 『学報』33巻1号
 4月 (論文) 「産業構造の重化学工業化と資本の組織化」社会経済史学会『1930年代の日本経済』東京大学出版会
 4月 (論文) 「エネルギー政策と公企業」平和経済計画会議『公企業と労働組合』御茶の水書房
 8月 (論文) 「戦間期日本資本主義分析の方法」『歴史学研究』507号
 10月 (書評) 作道洋太郎編『住友財閥』『経営史学』17巻3号
 11月 (書評) 馬場宏二『現代資本主義の透視』(東京大学) 『社会科学研究』34巻4号
 11月 (論文) 「財界を代表する経済団体連合会」平和経済計画会議『財界—政・官との癒着の構造—国民の独占白書第6号』御茶の水書房

1983年

- 2月 (論文) 「1930年代における日本資本主義の蓄積機構 (4・完)」(電気通信大学) 『学報』33巻2号
 4月 (論文) 「戦間期の景気循環」武井邦夫・岡本磐男・石垣今朝吉『景気循環の理論』時潮社
 7月 (論文) 「戦間期の化学工業」神奈川県『神奈川県史各論編2 産業・経済』同県
 10月 (学会報告) 「『工業化と地方産業』に関するコメント」(統一論題) 経営史学会第19回大会
 10月 (書評) 下谷政弘『日本化学工業史論』『土地制度史学』101号
 12月 (論文) 「電子工業系の兵器産業」平和経済計画会議『軍需産業：軍拡の経済構造—国民の独占白書第7号』御茶の水書房

1984年

- 1月 (書評) 小林正彬『海運業の労働問題』『社会経済史学』49巻4号
 5月 (学会報告) 「世界大恐慌と日本資本主義」社会経済史学会第53回大会
 11月 (書評) 奈倉文二『日本鉄鋼業史の研究』(東京大学史学会) 『史学雑誌』93編11号
 12月 (論文) 「総合商社の歴史と現状」平和経済計画会議『総合商社—ソフト経済化への対応—国民の独占白書第8号』御茶の水書房

1985年

- 1月 (論文) 「国際関係」大石嘉一郎編『日本帝国主義史1』東京大学出版会
 1月 (論文) 「景気循環」大石嘉一郎編『日本帝国主義史1』東京大学出版会
 2月 (書評) 麻島昭一『住友財閥経営史』『社会経済史学』50巻4号
 3月 (書評) 1920年代史研究会『1920年代の日本資本主義』『土地制度史学』27巻2号
 7月 (会社史) 『創業百年史』大阪商船三井船舶株式会社, 第8章, 第9章
 10月 (学会報告) 「(統一論題) 『経営史における昭和10年代』に関するコメント」経営史学会第21回大会
 12月 (論文) 「情報産業の発展とその構造」平和経済計画会議『情報化と現代社会—国民の独占白書第9号』御茶の水書房

1986年

- 2月 (コメント) K. Kobayashi & A. Morikawa ed., *Managerial Capitalism*. Tokyo University Press
 3月 (座談会) 「暗い海に沈まないための新しいコンパスはある」『コンパス創刊号』海事プレス
 5月 (論文) 「20世紀システムの動揺と日本経済」『エコノミスト』64巻22号
 6月 (コメント) 貝塚啓明・小野英祐編『日本の金融システム』東京大学出版会
 6月 (論文) 「戦後経済成長研究の成果と問題点」『社会経済史学』52巻2号

- 7月 (論文)「世界大恐慌と日本資本主義」(法政大学)『経営志林』23巻第2号
- 7月 (学会報告)「経営史と経済史」経営史学会関東部会大会
- 9月 (インタビュー)「日本的品質管理の展開」日本経営史研究所『経営と歴史』9号
- 11月 (論文)「重化学工業化論」日本歴史学会編『日本史研究の新視点』吉川弘文館

1987年

- 1月 (論文)「過度期の中の米国と日本—円高効果緩和メカニズムの位相」『エコノミスト』65巻1号
- 2月 (書評) 麻島昭一『三菱財閥の金融構造』(東京大学史学会)『史学雑誌』96編2号
- 4月 (論文)「ハイテク産業と日本経済」『地域開発』地域開発センター, 271号
- 5月 (書評) 牧野昇, 高橋乗宣『第三の経済危機』『経済界』経済界, 22巻9号
- 5月 (書評) 桜林誠『産業報国会の組織と機能』『経営史学』22巻1号
- 6月 (書評) 佐々木隆雄・絵所秀紀編『日本電子産業の海外進出』(法政大学)『法政』14巻5号
- 6月 (論説)「いまミドルは何を求めているか」『本』講談社, 12巻6号
- 7月 (調査) 機振法研究会編『機械工業振興臨時措置法が及ぼした経済的, 社会的影響に関する調査研究』(機械産業等の調査研究事業61-3) 産業研究所
- 10月 (会社史)『関西地方電気事業百年史』第2章, 第3章, 第4章, 第7章
- 12月 (論文)「経済政策」大石嘉一郎編『日本帝国主義史2』東京大学出版会

1988年

- 2月 (その他) "The Development of Business Associations in Prewar Japan: Comment", H. Yamazaki & M.Miyamoto ed., *Trade Associations in Business History: Proceedings of the Fuji Conference*, University of Tokyo Press
- 2月 (論文)「先端技術産業の展開と「日本型競争」」平和経済計画会議編『半導体摩擦: 日米先端産業の攻防—国民の独占白書第11号』御茶の水書房
- 3月 (その他)「「国際分業と産業空洞化」に関するコメント」『地域開発』地域開発センター, 282号
- 3月 (論説)「暗い月曜日は第二の「暗黒の木曜日」か」『法学教室』有斐閣, 90号
- 3月 (共著)『日本の歴史』日本放送出版協会
- 4月 (論文)「大恐慌と日本資本主義」佐美光彦, 平田嘉彦編『世界恐慌の分析』有斐閣
- 4月 (書評) 武田晴人『日本産銅業史』(東京大学経済学会)『経済学論集』54巻1号
- 5月 (論文)「国際的優位を確立した日本型生産方式」『エコノミスト』66巻22号
- 6月 (書評) 村井吉敬『エビと日本人』『朝日ジャーナル』30巻26号
- 7月 (書評) 安藤良雄『太平洋戦争の経済史的研究』『経営史学』23巻2号
- 8月 (論説)「脱欧米入亜の労働社会」『賃金事情』2001号
- 8月 (調査) 機械工業振興臨時措置法が及ぼした経済的, 社会的影響に関する調査研究』現代研究会報告書62-2, 産業研究所
- 9月 (学会報告)「世界恐慌の可能性」(パネルディスカッション「証券市場と恐慌」), 理論・計量経済学会1988年度大会
- 10月 (書評) 近代日本研究会『戦時経済』(東京大学史学会)『史学雑誌』97編10号
- 10月 (学会報告)「(統一論題)『株式会社—兩大戦間期における機能を考える—』に関する全般的コメント—日本をふまえた—」, 経営史学会第24回大会
- 11月 (論文)「大恐慌と経済小国・日本の軍事的冒険」『朝日ジャーナル』, 30巻48号
- 11月 (書評) 高多清在『みそ汁にハンバーガー』『朝日ジャーナル』30巻49号

1989年

- 1月 (論文)「石油危機後の産業発展」馬場宏二編『シリーズ世界経済IV 日本』御茶の水書房
- 1月 (論文)「企業経営と労使関係—「会社主義」の構造と限界」馬場宏二編『シリーズ世界経済IV

日本』御茶の水書房

- 1月 (コメント) 「総括コメント」土屋守章・三輪芳朗編『日本の中小企業』東京大学出版会
- 2月 (論文) 「戦後日本経済復興の神風・朝鮮戦争」『朝日ジャーナル』31巻9号
- 3月 (論文) 「高度成長はいかに準備されたか」『経済セミナー』410号
- 3月 (コメント) 「国際化と地域のリラクチャリング」『地域開発』日本地域開発センター, 294号
- 3月 (書評) Shoichi Asajima ed., *Zaibatsu Kinyu Kozono Hikaku Kenkyu*, Japan Business History Institute, *Japanese Year book on Business History: 1988*
- 4月 (書評) 小宮隆太郎『現代中国経済』『朝日ジャーナル』31巻20号
- 5月 (論文) 「1955年」安場保吉・猪木武徳編『高度成長・日本経済史8』岩波書店
- 6月 (論文) 「経済・産業構造の転換」国民金融公庫調査部編『現代下請企業論』中小企業リサーチセンター
- 6月 (学会報告) 「(共通論題) 『産業の規律と独占』に関するコメント」社会経済史学会第58回大会
- 8月 (書評) 川上忠雄・杉浦克己編『経済のマネージャビリティ』『朝日ジャーナル』31巻34号
- 8月 (論文) 「ポストモダン後のモダンな経済」『エコノミスト』67巻32号
- 8月 (論文) 「巨大産業の興隆」中村隆英・尾高煌之助編『二重構造・日本経済史6』岩波書店
- 8月 (調査) 『機械工業臨時措置法が及ぼした経済的・社会的影響』産業研究所
- 10月 (論文) 「高橋亀吉の財閥論」『証券研究』89巻
- 10月 (論文) 「兩大戦間期の日本経済」(法政大学)『経営志林』26巻3号
- 11月 (書評) 広田功・奥田央・大沢真理編『転換期の国家・資本・労働』『社会経済史学』55巻4号
- 11月 (調査) 『熊本県の産業政策研究報告書』第1章, 熊本県

1990年

- 1月 (書評) 重光晶『ソ連の国民経済』『朝日ジャーナル』32巻2号
- 3月 (書評) 白崎秀雄『耳庵松永安左エ門上・下』『朝日ジャーナル』32巻12号
- 3月 (論文) 「機械電子工業の育成」『通商産業政策史6』通商産業省
- 3月 (論文) 「航空機・武器工業の振興」『通商産業政策史6』通商産業省
- 3月 (論文) 「繊維工業の安定化政策」『通商産業政策史6』通商産業省
- 3月 (論文) 「日本からの展望—問題提起」『東アジア経済のダイナミックスと相互依存』法政大学比較経済研究所
- 4月 (書評) 中村隆英編『<計画化>と<民主化>』(東京大学史学会)『史学雑誌』99編4号
- 5月 (調査) 清成忠男・小池和男編『アジアの挑戦: 日・韓・タイにおける国際分業と企業戦略』東洋経済新報社, 第三部司会
- 5月 (書評) 榊原英資『資本主義を超えた日本』『朝日ジャーナル』32巻18号
- 6月 (論文) 「日米「ハイブリッド化経済」論」『エコノミスト』68巻26号
- 6月 (コメント) 「「産業の規律」という用語」『社会経済史学』第56巻2号
- 9月 (論文) 「現代日本企業の組織と行動」(法政大学)『経営志林』27巻1号
- (調査) 『地域産業活性化欧州調査団報告書』第1章, 広域関東圏産業活性化センター
- (調査) 『機械工業振興臨時措置法が及ぼした経済的・社会的影響に関する調査研究』産業研究所
- (調査) 『静岡市戦略産業の育成及び導入に関する調査研究報告書』第1章, 静岡総合研究機構

1991年

- 3月 (論文) 「ネオ・モダンな経済と日本企業－日本経済の歴史的展開と到達点」(特集バブル経済の破綻)『世界』551号
- 4月 (書評) 三輪芳朗『日本の企業と産業組織』(東京大学経済学会)『経済学論集』57巻1号
- 6月 (書評) 法政大学比較経済研究所・山内一男・菊池道樹編『中国経済の新局面』『法政』18巻5号
- 10月 (論文) 「日本経済と流通産業」平和経済計画会議編『日本の流通産業－国民の独占白書第14号』御茶の水書房
- 10月 (学会報告) 「<経済発展段階論>と日本経済史」社会経済史学会第60回大会, 共通論題報告, 『社会経済史学会第60回大会報告要旨』
- 11月 (論文) 「大企業体制の経済構造」東京大学社会科学研究所編『現代日本社会5 構造』, 東京大学出版会
- 12月 (学会報告) 「個人商店の没落と大店法」流通学会関東甲信越部会
- 12月 (その他) 「アフター・フォーディズムとニッポン会社主義と」(山田鋭夫・須藤修・石塚良次・いいだもも氏と)『フォーラム90's』2巻11号

1992年

- 1月 (論文) 「ペレストロイカと日本経済の経験」『経済セミナー』444号
- 1月 (書評) 吉川洋・岡崎哲二編著『経済理論の歴史的パースペクティブ』(一橋大学)『経済研究』43巻1号
- 1月 (その他) 「続アフター・フォーディズムとニッポン会社主義と」『フォーラム90's』3巻1号
- 1月 (その他) 「景気後退はまたしても国際不均衡の原因となる－経済時評」『図書新聞』2085号
- 2月 (その他) 「“建前と本音” アメリカ大統領使節団のジレンマ－経済時評」『図書新聞』2088号
- 2月 (その他) 「資本主義の<大転換>期とアフターフォーディズム」『社会運動』(社会運動研究センター)143号
- 3月 (その他) 「日本資本主義I 資本主義の発展」大阪市立大学経済研究所編『経済学辞典第3版』岩波書店
- 3月 (書評) "Technology and Investment: The Prewar Japanese Chemical Industry. By B. Molony", *Journal of Japanese Studies*, Vol. 18, No. 1.
- 3月 (その他) 海事産業研究所・三和総合研究所『国際化時代における外航海運のあり方についての調査研究－タンカーの円滑な整備のための方策に関する調査－』海事産業研究所
- 3月 (その他) 「<会社主義>の改編が課題か－経済時評」『図書新聞』2092号
- 4月 (その他) 「時代は閉塞しているのか－経済時評」『図書新聞』2096号
- 5月 「大企業パラダイムは終焉するか－ME革命による<大転換>の時代」『世界』568号
- 5月 (その他) 「<脱大量生産>, 日本が先行－経済教室」『日本経済新聞』(「資本主義大転換に最も対応力のある<社会主義>」と改題し, 日本経済新聞社編『私の資本主義論』, 1993年に再録)
- 5月 (論文) 「<経済発展段階論>と日本経済史－ME技術革命と世界経済史の<大転換>－」『社会経済史学』58巻1号
- 5月 (その他) 「合評会－『現代日本社会1 課題と視角』」(東京大学)『社会科学研究』43巻6号
- 5月 (その他) 「安易に大企業＝悪玉論に依存すべきではない－経済時評」『図書新聞』2101号
- 6月 (論文) 「日本価格決定過程的類型和特点」復旦大学日本研究中心編『戦後日本物価変動興物価政策』復旦大学出版社(中国上海市), 16-32頁
- 6月 (その他) 「環境に最適の成長に経済を管理するシステムが必要－経済時評」『図書新聞』2106号
- 7月 (その他) 「単純な自由化は無知の合唱かもしれない－経済時評」『図書新聞』2108号

- 8月 (論説) 「『日本型資本主義の功罪－働きがいビルトインしたシステムだが』『エコノミスト』70巻36号
- 8月 (書評) 「戦後日本経済発展のもう一つの視点－『電子立国日本の自叙伝』『よむ』(岩波書店), 2巻5号
- 8月 (その他) 「世界に冠たる衣食生活を送るなどということは強欲－経済時評」『図書新聞』2113号
- 8月 (その他) 「<合評会>－『現代日本社会2 国際比 [1]』(東京大学)『社会科学研究』44巻1号
- 9月 (論文) 「『わが国製造業の強さを支える<柔かな>分業』『調査月報』国民金融公庫, 377号
- 9月 (その他) 「<年と功>による昇進制度が揺らぎ始めている－経済時評」『図書新聞』2116号
- 9月 (その他) 「平成大不況説には与しない－経済時評」『図書新聞』2119号
- 9月 (その他) 「<合評会>－『現代日本社会4 歴史的な前提』(東京大学)『社会科学研究』44巻2号
- 9月 (インタビュー) 「『大転換』が始まった」(特集たくましいメーカーになる)『東海総研マネジメント』165
- 10月 (その他) 「時に育まれた商人の情報交換機能」『化学工学』化学工業会, 56巻10号
- 10月 (その他) 「いま, ダウンサイジング現象が起こっている－経済時評」『図書新聞』2123号
- 11月 (論文) 「日本の取引慣行と構造摩擦」安保哲夫・柴垣和夫・河合正弘編『日米関係の構図相互依存と摩擦』ミネルヴァ書房
- 11月 (論文) 「日本型分業システムの形成－たくまざる<柔かな>企業・作業場内分業と<意図された計画的>企業間分業」(一橋大学)『ビジネス・レビュー』40巻2号
- 11月 (書評) 「<大恐慌の時代>を33冊で読む」『よむ』岩波書店, 2巻8号
- 11月 (その他) 「パソコンの普及によりME技術が家庭へ侵入, 産業化の新しい地平－経済時評」『図書新聞』2127号
- 11月 (その他) 「造船業」「GATT」など16項目『日本史大辞典』平凡社
- 12月 (その他) 「<合評会>－『現代日本社会5 構造』(東京大学)『社会科学研究』44巻4号
- 1993年
- 1月 (論文) 「『遅れた戦後復興と苦難の高度成長』『経済セミナー』456号
- 1月 (書評) 工藤昌宏『日本海運業の展開と企業集団』『社会経済史学』58巻5号
- 2月 (コメント) 「コメント1」重点領域研究『情報化社会と人間』第四群・総括班『高度情報化と社会経済システム』
- 2月 (コメント) 「コメント3」平田喜彦編『世界経済の成長センター』多賀出版
- 2月 (その他) 「<合評会>－『現代日本社会3 国際比較 [2]』(東京大学)『社会科学研究』44巻5号
- 3月 (論文) 「機械工業振興臨時措置法に関する民間企業の評価－「会社史」を用いた分析」『グノーシス』法政大学産業情報センター, 2号 (清成忠男教授還暦記念)
- 3月 (その他) 「情報化社会の始まり」『目でみる明治生命110年の歴史』
- 4月 (書評) 洞口治夫『日本企業の海外直接投資』(東京大学経済学会)『経済学論集』59巻1号
- 4月 (その他) 「本社はなぜ東京に集中するか」『経済評論』42巻4号
- 4月 (調査) 『新たな企業間ネットワークの構築に向けて－企業系列に関する研究報告』東京商工会議所(研究会委員として参加)(The Tokyo Chamber of Commerce and Industry, Building a New Corporate Network: Report on Research into Corporate Keiretsu, April 1993)
- 5月 (論文) 「戦前日本における地価変動と不動産業」Working Paper Series No.29., Center for Business and Industrial Research, Hosei University (財団法人日本住宅総合センター『不

動産業に関する史的研究会 [I] 同センター, 1994年2月)

5月 (その他) 「構造転換期における企業経営」『茨城新聞』5月15日

6月 (調査) 『21世紀型中核企業像を探る21世紀中核企業問題研究委員会—中堅・中小企業を中心として—報告書』日本生産性本部 (専門委員, 第1研究会コーディネーターとして第2章第1節「21世紀中核企業の課題とビジョン」の執筆と調整)

7月 (調査) 『外航船舶の解撤に関する調査中間報告書』海事産業研究所 (「外航船舶の解撤に関する調査懇談会」座長)

7月 (調査) 『平成4年度原子力船の運航に係わる全体システムの検討』日本原子力産業会議 (調査会委員として参加)

7月 (その他) 「合評会—『現代日本社会7 国際化』」(東京大学) 『社会科学研究』44巻6号

8月 (論文) 「高度成長のメカニズム」伊丹敬之・加護野忠男・伊藤元重編『リーディングス日本の企業システム4 企業と市場』有斐閣

10月 (調査) 『海運安全対策協力調査 (マレーシア)』海事国際協力センター (「海運安全対策協力調査委員会」委員長)

10月 (論文) 「日本経済の特徴と21世紀の課題」『生活協同組合研究』213号

11月 (論説) 「手間取る<2極経済システム>の再編—消費と先端技術が結び付かない」(「大転換」期の日本経済 [上]) 『エコノミスト』71巻51号

11月 (論説) 「<日本型システム>の成立を問い直す」『よむ』3巻8号

11月 (書評) 森川英正編『ビジネスマンのための戦後日本経営史入門』『社会経済史学』59巻3号

11月 (報告) 「統一論題<財閥における所有者・経営者関係の比較研究>—コメント<企業集団との接点から>」経営史学会第29回大会

11月 (その他) 「討論」大河内暁男・武田晴人編『企業者活動と企業システム』東京大学出版会

12月 (論文) 「経常収支不均衡と基軸の多軸的分業型国際経済システム」『平和経済』383号

12月 (その他) 「焼鳥屋談義」高須賀義博追悼集刊委員会『思い出の高須賀義博』

1994年

1月 (その他) 「市場の情報交換機能①-⑥」『日本経済新聞』1月8・10-14日

1月 (論文) 「高度経済成長期における日本政府・業界団体・企業—機械工業振興臨時措置法を事例として」(東京大学) 『社会科学研究』45巻4号

1月 (座談会) 「社会科学を語る」(東京大学) 『社会科学研究』45巻4号 (語り手馬場宏二, 聞き手小沢健二, 三和良一, 工藤章, 安保哲夫, 司会橋本壽朗)

1月 (その他) 「21世紀私の教育提言」『進研ニュース』福武書店, 177号

2月 (論文) 「日美企業在尖端技術産業中的競争」『日本市場経済研究』中国社会科学院日本市場経済研究中心, 1994年I期

2月 (論文) 「20世紀システムの動揺をいかに解釈するか(1)」(東京大学) 『社会科学研究』45巻5号

2月 (その他) 「カルテル」川北稔編『歴史学事典1 交換と消費』弘文堂

3月 (論文) 「日本経済の転換と企業システム」『生活協同組合研究』218号

3月 (論文) "The Japanese System of Division of Labor: The Combination of a "Flexible" In-house Division of labor and a "Planned" Inter-company Division of Labor", *Annals of the Institute of Social Science* No.35

3月 (論文) "Japanese Industrial Firms and Financial Market in the Interwar Period", University of Tokyo Institute of Social Science Occasional Papers in Social and Economic History, No. 6

- 3月 (書評) 香西泰・寺西重郎編『戦後日本の経済改革』『経済セミナー』470号
- 3月 (その他) 「全体討論」『生活協同組合研究』218号
- 3月 (その他) 「企業に分権体制を」『熊本日新聞』3月5日
- 3月 (座談会) 「日本資本主義論と企業経営史」(東京大学)『社会科学研究』235巻6号(語り手山崎宏明, 聞き手武田晴人, 田村茉莉子, 橘川武郎, 阿部武司, 司会橋本壽朗)
- 4月 (論説) 「<肥満になった>日本の大企業」『世界』593号
- 4月 (論説) 「集中豪雨の輸出と貿易摩擦」『世界』594号
- 4月 (論説) 「日米構造調整協議と<横からの入力>」『世界』594号
- 4月 (その他) 「座談会 ヨーロッパの地域産業政策を現地にみる」『地域開発』355号(清成忠男, 柳沼寿と)
- 4月 (調査) 海事国際協力センター『海運安全対策協力調査(タイ)』(「海上輸送安全対策協力調査委員会」委員長)
- 4月 (その他) 「中国への学术交流支援—日本企業に望まれること—」『経済広報』経済広報センター, 176号
- 4月 (論文) 「外国企業インキュベーター: インターフォーラム」『地域開発』355号
- 5月 (論文) 「日本経済の競争力と研究開発」(財)東北産業活性化センター編『ビジネス・インキュベーター構築への道』ぎょうせい
- 5月 (パネルディスカッション) 「研究開発とコマースャリゼーション」, (財)東北産業活性化センター編『ビジネス・インキュベーター構築への道』ぎょうせい
- 5月 (論説) 「系列—国際的にも広がる気配」『エコノミスト』72巻20号
- 5月 (その他) 「中小企業の役割に期待」『信濃毎日新聞』5月13日
- 5月 (インタビュー) 「本物の景気回復が始まった」『週刊現代』36巻19号
- 5月 (その他) 「平成不況と流通産業」『分科会通信』日刊スポーツ産業学会・スポーツマネジメント分科会, 8号
- 6月 (その他) 「日本企業の躍進は終わったか」『公明』390号
- 7月 (書評) 岡崎哲二『日本の工業化と鉄鋼産業』(東京大学経済学会)『経済学論集』60巻2号
- 7月 (調査) 海事産業研究所『外航船舶の解撤に関する調査報告書』(「外航船舶の解撤に関する調査委員会」委員長)
- 7月 (調査) 海運経済研究グループ『台湾・造船事情の見聞(平成5年7月18日~7月24日)』日本海運振興会
- 7月 (その他) The 20th Century System: The Next Institute-Wide Research Project "Social Science Japan" Institute of Social Science University of Tokyo, (土田とも子と共著)
- 8月 (論文) 「“長期一対一交易” 形成的理論和歴史」『日本市場経済研究』1994年第3期
- 9月 (その他) 「中小企業の展示マーケティング」『調査月報』国民金融公庫, 401号
- 10月 (その他) 「中小企業」『信濃毎日新聞』10月28日
- 10月 (その他) 項目「笠井順八」『歴史人物事典』朝日新聞社
- 11月 (座談会) 「魅力ある産業へいま変革の時—内航海運の将来像を探る」(運輸省海上技術安全局船員部長加藤甫, 日本内航海運組合総連合会会長増井義己と)『日本海事新聞』11月30日
- 12月 (論文) 「戦前日本の技術政策」(東京大学)『社会科学研究』46巻3号
- 1995年
- 1月 (論文) 「資源・用地・資金制約下における大量生産型産業の飛躍: 川崎製鉄千葉製鉄所の高炉建設を事例に—戦後日本形成の基礎的研究 OCCASIONAL PAPER No.16」文部省科学研究費重点領域研究『戦後日本形成の基礎的研究』班

- 2月 (論文) 「技術導入と現場主義的技術者養成」(東京大学)『社会科学研究』46巻5号
- 2月 (書評) 平本厚『日本のテレビ産業』『エコノミスト』73巻6号
- 2月 (会社史) 『住友海上火災保険株式会社百年史』第8章, 第9章, 第10章
- 3月 (論文) 「戦前日本における不動産金融」Center for Business and Industrial Research Hosei University Working Paper Series No.43
- 3月 (調査) 海事国際協力センター『海上輸送安全対策協力調査(ミャンマー連邦)』(「海上輸送安全対策調査委員会」委員長)
- 3月 (論文) "The Formation of the Japanese-style Corporate System", University of Tokyo Institute of Social Science Occasional Papers in Capitalist Economies and International Relations, No.10 (*Annals of the Institute of Social Science*, No.37, March 1996に再録)
- 4月 (報告) 「戦後日本の金融システムと日本開発銀行の役割」, 第5回国際シンポジウム『日本企業の民営化とその問題点』1995年4月29日-5月1日, 中国上海市, 復旦大学日本研究中心が主催, 司会・コメント
- 4月 (論文) 「日本企業の戦後的変容」『学術月報』日本学術振興会, 48巻4号, (一部修正のうえ, 渡辺昭夫編『戦後日本の形成』日本学術振興会, 1996年3月に再録)
- 4月 (論文) "Japan and Asia in the World System", *Social Science Japan* No. 3
- 4月 (その他) 「高度経済成長は何故実現したか: 書きたいテーマ・出したい本」『出版ニュース』1696号
- 5月 (学会報告) 「問題提起-企業システムの<発生>, <洗練>, <制度化>」社会経済史学会大会第64回大会, 共通論題報告, 『社会経済史学会第64回全国大会報告要旨』
- 5月 (学会報告) 「長期相対取引形成の歴史と論理」社会経済史学会大会第64回大会, 共通論題報告, 『社会経済史学会第64回全国大会報告要旨』
- 5月 (調査) 海上労働科学研究所『旅客船における船員の雇用動向及び移動状況に関する調査』(「旅客船船員雇用動向調査委員会」委員長)
- 5月 (その他) 「<大転換期>における大企業経営者」『RIRI 流通産業』(流通産業研究所) 27巻3号
- 5月 (論説) 「戦後経済50年-「1940年体制」は現在と直結していない」(特集20世紀日本経済「最後の5年」)『エコノミスト』73巻19号
- 6月 (調査) 日本原子力産業会議『平成6年度原子力船の運航に係る全体システムの検討(3)』(「原子力船の運航に係る全体システム検討委員会」委員)
- 6月 (調査) 運輸経済研究センター『運輸産業におけるコスト競争力に関する国際比較調査報告書』(「外航海運調査ワーキング委員会」座長)
- 7月 (インタビュー) 「震災, 復興・防災に重点配備」『読売新聞』7月9日
- 7月 (学会報告) 「統一論題<経営者企業をめぐって>に関するコメント」経営史学会関東部会大会
- 7月 (パネルディスカッション) 「戦後日本の経済をめぐって」文部省科学研究費・重点領域研究『戦後日本形成の基礎的研究 第三回研究集会』
- 7月 (インタビュー) 「円高で日本の雇用はどう変わる」『B-ing』21巻29号
- 7月 (調査) 社会経済生産性本部『市場創造自立型企業の提唱(中小企業研究委員会報告書)』(第1章第1節「<大転換期>にある日本経済」を執筆)
- 8月 (論文) 「戦後日本の金融システムと日本開発銀行の役割」(東京大学)『社会科学研究』47巻1号
- 9月 (インタビュー) 「橋本壽朗 SPECIAL インタビュー-独自の視点から復興・高度成長の歴史を執筆/日本型システムは10年前から機能不全に陥った」『週刊現代』37巻35号, 9月16日号

- 9月 (調査) 清成忠男監修・東北産業活性化センター編『新市場創造に挑む東北の起業家たち』日本地域社会研究所 (「新市場を創造する企業」を執筆)
- 10月 (書評) 野口悠紀雄『1940年体制』『エコノミスト』73巻42号, 112-113頁
- 10月 (書評) 金森久雄『わたしの戦後経済史』『東京新聞』10月15日
- 10月 (書評) 大瀧雅之『景気循環の理論—現代日本経済の構造』(東京大学)『社会科学研究』47巻3号 (河合正弘, 渋谷博史と共著)
- 10月 (論文)「円高とく産業の空洞化」河村哲二・柴田徳太郎編『現代世界経済システム』東洋経済新報社
- 10月 (調査) 連合総合生活開発研究所『2010年の産業と雇用』(第2章「20世紀システムと日本の産業構造変化」を執筆)
- 11月 (書評) 中村隆英『現代経済史』『週間ポスト』1995年11月24日号
- 12月 (報告)「戦後日本経済」, 第3回日韓学術コロキウム, 1995年12月12日, 日韓比較研究フォーラム・(財)国際文化会館・韓国プレスセンター主催
- 12月 (論文)「長期相対関係と企業系列」森川英正・米倉誠一郎編『高度成長を超えて 日本経営史5』岩波書店
- 12月 (論文)「日本経済高速増長の機制」『日本研究集刊』(復旦大学日本研究中心)1995年第2期
- 12月 (論説)「従来型の景気対策よりも企業家活動支援を」『エコノミスト』73巻55号
- (論文)「技術引進与現場主義的技術培訓」『日本市場経済』1995年第1期

1996年

- 1月 (その他) 第5セッション「産業政策」の司会, 国際シンポジウム "Postwar Japan: What does it to the World Civilization" 1996年1月6日, 文部省重点領域研究『戦後日本形成の基礎的研究』・兵庫県・読売新聞主催
- 1月 (論文)「戦後の金融体制和日本開発銀行的作用」復旦大学日本研究中心『日本公有企業の民営化及其問題』上海财经大学出版社
- 1月 (学会報告)「『革新の経営史』について」経営史学会関東部会
- 2月 (報告) "Government as Coordinator, with Strategies in its Hands: The Case of Japanese Industrial Policy for Shipping and Shipbuilding Industries during the Postwar Reconstruction period", Market and Government: Foes or Friends? International Conference on the World Economy in Transition, 1996年2月8-9日, 一橋大学経済研究所主催
- 2月 (論文) "Japanese Firms in Financial Distress and Main Banks: Analyses of Interest Rate Premia", Discussion Paper Series No.F-51, Institute of Social Science, University of Tokyo
- 3月 (コメント)「EC統合の経済的基礎—コメント」法政大学社会学部編『統合と多様化新しい変動の中の人間と社会』法政大学出版局
- 3月 (論文) "Technology Policy of Pre-war Japan", T.Matsuzaki and T.Yanagihara eds., *Technological Development and Economic System: Japanese Experience and Lessons*, Institute of Comparative Economic Studies and Faculty of Economics Studies, Hosei University
- 3月 (論文)「戦前・戦中・戦後の日本経済システム」国民経済研究協会『産業年報』No.20
- 4月 (その他)「迷路の先にあったもの (特集経済学と出会う)」『経済セミナー』日本評論社, 495号
- 5月 (論文)「第一次大戦以後における建築活動—不動産業に関連させた大阪市建築統計の分析を中心に」Center for Business and Industrial Research Hosei University Working Paper Series, No.56 (山口由等と共著) (日本住宅総合センター編『不動産業に関する史的研究 [Ⅲ]』同センター, 1996年11月, に修正の上, 収録)
- 5月 (論文)「日本の不動産業発達史研究の意義について」Center for Business and Industrial

- Research Hosei University Working Paper Series, No.59, (日本住宅総合センター編『不動産に関する史的研究 [Ⅲ]』同センター, 1996年11月に修正の上, 収録)
- 5月 (論文) "Corporate Structure and Japanese Economy", Occasional Papers in Capitalist Economies and International Relations, No.14
- 5月 (書評) 松本三和夫『船の科学技術革命と産業社会』『日本労働研究雑誌』日本労働研究機構, 433号
- 5月 (その他) 「『20世紀資本主義』で明らかにしたかったこと」『平和経済』410号
- 5月17日 (その他) 「まだ甘い現状認識: 『通商白書』へのコメント」『毎日新聞』(夕刊)
- 5月 (調査) 「地域の産業振興と行政・商工会の役割」島根県商工会連合会他『平成7年度創業塾報告書』
- 5・6月 (論文) "Amid the Global Turning Point", *Japanese Economic Studies*, Vol.24, No.3
- 6月 (論文) 「日本経済の歩みⅡ 戦間期」貝塚啓明・香西泰・野中郁次郎監修『日本経済事典』日本経済新聞社
- 6月 (その他) 「規制緩和論と望ましい社会の設計」『学会会報』812号
- 6月 (調査) 運輸経済研究センター『運輸産業におけるコスト競争力に関する国際比較調査報告書(第2次)』(外航海運ワーキング委員会座長として「第Ⅲ章外航海運のコスト競争力」取り纏め)
- 7月 (論文) 「業種別近代化施策の機能と課題」中小企業庁計画部計画課『中小企業問題研究会(Ⅱ)関連資料集』
- 10月 (論文) "Japanese Firms in Financial Distress and Main Banks: Analyses of Interest Rate Premia", *Japan and the World Economy*, vol. 8
- 10月 (論説) 「経済の<55年体制>を打破せよ」『エコノミスト』74巻44号
- 10月 (その他) 「化学工業」, 「ゴム工業」, 「窯業」日本経営史研究所『増補・改訂版会社史総合目録』丸善
- 10月 (書評) 橘川武郎『日本電力業の発展と松永安左エ門』(東京大学経済学会)『経済学論集』62巻3号
- 11月 (論文) 「日本における経営不振企業とメインバンク: 金利プレミアムの分析」(東京大学)『社会科学研究』48巻4号, 泉田成美, 河合正弘と共著)
- 11月 (その他) "Socio-Economic History Society" (原輝史と共著) 日本経済学会連合, *Information Bulletin of the Union of National Economic Association in Japan*, No.16,
- 12月 (論文) 「中小企業<自立化>の戦後史」清成忠男編『なぜ, 今, 起業家の時代か?』社会経済生産性本部
- 12月 (その他) 「21世紀システム構築のためのイニシアティブ」『月刊 keidanren』経済団体連合会, 45巻1号
- 12月 (論文) 「戦後の日本経済」天川晃・五十嵐武士編『戦後日本史と現代の課題』築地書館
- 1997年
- 1月 (書評) 溝田誠吾『造船重機械産業の企業システム』『土地制度史学』154号
- 1月 (座談会) 「座談会<全体研究を語る>」(東京大学)『社会科学研究』48巻4号
- 2月 (その他) 「これからの中小・中堅企業の課題と戦略」『東経連』東北経済連合会, 361号
- 3月 (論文) 「戦略をもった調整者としての政府の役割: 戦後復興期における<計画造船>と運輸省の活動・役割」(東京大学)『社会科学研究』48巻5号
- 3月 (論文) "How and When Japanese Economic and Enterprise System Were Formed", *Japanese Year book on Business History*, Vol.13
- 3月 (調査) 「第2章 内外価格差問題についての検討の枠組」日本リゾートクラブ協会『リゾート

- 産業における内外価格差と業界の対応に関する調査研究』産業研究所
- 3月(その他)尾高煌之助編『機振法と私－戦後産業政策史の一コマを語る』一橋大学経済研究所 Discussion Paper Series B No.21 (聞き手の一人として参加)
- 5月(論文)「<日本型産業集積>再生の方向性」清成忠男・橋本壽朗編『日本型産業集積の未来像』日本経済新聞社, 160-198頁
- 6月(学会報告)「国際交通レジームの形成・発展と創造された総合商社：20世紀システムと日本経済」大阪歴史学会, 1997年度学会大会・近代史部会報告, 「20世紀システムと日本経済」『ヒストリア』155号
- 6月(その他)「自立型中小企業への転換をめざせ」『月刊中小企業』中小企業庁, 49巻6号
- 7月(その他)「<日本型産業集積>再生の方向性」『S ネット』(サイエンスパーク研究ネット会報) 13号
- 8月(論文) "Japanese Industrial Enterprises and the Financial Market between the Two World Wars" in P. I., Cottrell, A. Teichova and T. Yuzawa eds., *Finance in the Age of the Corporate Economy: The Third Anglo-Japanese Business History Conference*, Ashgate
- 8月(論文) "Corporate Structure and the Japanese Economy" in J.Bannoed., *The Political Economy of Japanese Society Vol.1*, Oxford University Press
- 9月(書評)岡崎哲二・菅山真次・西沢保・米倉誠一郎著『戦後日本経済と経済同好会』『社会経済史学』63巻3号
- 9月(その他)「産業集積は大企業を代替できるか」『金属プレス』日本金属プレス工業出版会, 20巻9号
- 10月(論文)「現代日本経済史研究の焦点：日本企業システム形成史の研究動向を中心に」(東京大学)『社会科学研究』49巻1号
- 11月(論文)「松下幸之助論－戦後日本における企業者企業経営者の典型」(東京大学)『社会科学研究』49巻2号(西野肇と共著)
- 12月(その他)「日本型産業集積の未来像」, 「地方の活路を拓く」(パネル・ディスカッションの記録), 清成忠男監修『シリコンバレーで成功する秘訣』八朔社

1998年

- 1月(学会報告) "Hive-off Mechanism of Larger Japanese Companies", Jan.5-8th, 1998 submitted to the 25th Fuji Business History Conference
- 1月(論文)「20世紀システムの形成と動揺」東京大学社会科学研究所編『20世紀システム1構想と形成』東京大学出版会
- 1月(論文)「日本企業体系」『日本研究集刊』復旦大学日本研究中心, 1997年第2期
- 1月(論文)「国際交通レジームの形成と創造された総合商社：20世紀システムと日本経済」『ヒストリア』大阪歴史学会, 158号
- 1月(その他)「神の<見えざる手>は知恵ある人の手で甦るのか」『UP』東京大学出版会, 24巻1号
- 2月(論文)「経済発展の初期条件としての国際交通システム－19世紀末から20世紀初頭の国際交通システムと日本における企業組織の革新」Discussion Paper Series, J-71, Institute of Social Science
- 3月(論文) "Japan: Government as Coordinator in Shipping and Shipbuilding", in K.Odaka and J.Teranishi eds., *Market and Government: in Search of Better Coordination*, Maruzen Co., Ltd.
- 3月(論文)「韓国自動車工業におけるサプライヤー・システムの形成と展開－日韓比較の観点から」

(東京大学)『社会科学研究』49巻4号(高基永と共著)

- 3月(論文)「経済成長の時代」東京大学社会科学研究所編『20世紀システム2 経済成長I基軸』東京大学出版会
- 3月(その他)尾高煌之助編『特定産業振興臨時措置法提案の背景と目的』一橋大学経済研究所 Discussion Paper Series B No.22(ディスカッションに参加)
- 3月(調査)日本総合研究所『初期条件特定型経済発展に関する調査報告書』
- 3月 The Hive-off Mechanism of Larger Japanese Companies, 『グノーシス』法政大学産業情報センター, 7,
- 4月(その他)「戦後史のとらえ方—書き手から見た会社史」『企業と史料』企業史料協議会, 6
- 7月(論文)「総合商社の創造と商社マンの「自伝」—安川雄之助著『三井物産筆頭常務』を手懸かりに」『社会経済史学』64巻2号
- 7月(論文)「戦後日本の企業者企業経営者」伊丹敬之・加護野忠男・宮本又郎・米倉誠一郎編『ケースブック日本企業の経営行動4 企業家の群像と時代の息吹き』有斐閣,(西野肇と共著)
- 9月(論文)「総合商社発生論の再検討—革新的適応としての総合商社はいかにして生まれ出でたか」(特集現代経済と企業システム)(東京大学)『社会科学研究』50巻1号
- 10月(その他)「ありがたい編集者」高概博追悼集刊行委員会編『瞬 高概博追悼集』
- 11月(調査)「諸外国における港湾労働対策の現状—ヨーロッパ編」『JIL 資料シリーズ』日本労働研究機構, 88
- 12月(書評)「私の書評 政府と企業,そして市場—三輪芳朗著『政府の能力』を読んで」『書齋の窓』有斐閣, 480号

1999年

- 1月(その他)「現代日本経済システムの再設計と自立的システムの意義」(特集 日本的経済システムのゆくえ),『生活経済政策』生活経済政策研究所, 24
- 2月(その他)「解説」池田勇人『均衡財政 附・占領下三年のおもいで』中央公論新社<中公文庫>
- 3月(論文)「日本経済の中長期経済的展望—ストック市場と実体経済の不安定化と金融のシステムミック・リスク」(大東文化大学)『経済研究』12
- 3月(シンポジウム:大東文化大学経済学部創設60周年記念)橋本壽朗・山本孝則・大杉由香「日本経済のルネッサンス」(大東文化大学)『経済研究』12
- 3月(論文)「現代日本企業のトップマネジメント—トップマネジメントはいかに選抜され,冒した「誤算」の経営責任は,何故,放置されたのか」『グノーシス』法政大学産業情報センター, 8
- 3月(その他)「特集20世紀と記憶された未来:特集を編集するにあたって」(東京大学)『社会科学研究』50巻5号
- 3月(論文)「20世紀経済システムと世紀末の大転換」(東京大学)『社会科学研究』50巻5号
- 3月(その他)「『20世紀システム1 構想と形成』合評会討論要旨」(東京大学)『社会科学研究』50巻5号
- 3月(その他)「『20世紀システム 経済成長1基軸』合評会討論要旨」(東京大学)『社会科学研究』50巻5号
- 4月(その他)「中小企業の経営革新支援政策の登場」『金属プレス』日本金属プレス工業出版会, 31巻4号
- 4月(その他)「低迷する日本経済」『百科年鑑1999』日立デジタル平凡社
- 5月(論文)「証券会社の経営破綻と間接金融・長期雇用システム」『証券経済研究』日本証券経済研究所, 19号
- 5月(その他)『中小企業政策研究会最終報告』(座長代理としてとりまとめに参加)中小企業政策研

研究会

- 5月 (その他) 「『20世紀システム4 開発主義』合評会討論要旨」(東京大学) 『社会科学研究』50巻5号
- 5月 (その他) 「日本経済再生の課題」 『生活起点』セゾン総合研究所, 12号
- 6月 (その他) 「交遊抄 終日テニス」 『日本経済新聞』6月25日
- 7月 (その他) 「特別座談会 統計と経済実態統計は時代の動きを正しく語っているか」(中村芳夫, 村山昇作と) 『生活起点』セゾン総合研究所, 14号
- 7月 (その他) 「ポケットに忍ばせた古典はあとで効く [経済学1年生] のころ」 『経済セミナー』日本評論社, 535号
- 7月 (その他) 「失業率: 高まる失業率と社会の大損失」 『Encarta 百科事典99 YearBook』マイクロソフト
- 8月 (その他) 「労使協調で名目賃金の引き下げを」 『Encarta 百科事典99 YearBook』マイクロソフト
- 8月 (その他) 「独占資本主義」, 「日本型経営」, 「高度成長」 鳥海靖・松尾正人・小風秀雅編 『日本近現代史研究事典』東京堂出版
- 9月 (招待報告) 「アジアの金融危機とメインバンク・システム」 南開大学 (中国天津市) 主催国際シンポジウム「国際政治経済システムと東アジア」
- 9月 (論文) 「山一証券の経営破綻と銀行管理下の再建—1965年証券恐慌と山一証券」 『証券経済研究』日本証券経済研究所, 21号
- 9月 (その他) 「これまでの中小企業政策の変遷と今後の方向」 中小企業庁編 『中小企業政策の新たな展開』同文館
- 10月 (論文) 「日本企業体制論」 『日本研究論集』4, 南開大学出版社
- 10月 (書評) 「特集テーマ 書評日本経済」 『月刊デジタル百科』日立デジタル平凡社, 10月号
- 10月 (書評) 藤井信幸 『テレコムの経済史—近代日本の電信・電話』 『土地制度史学』165号
- 11月 (論文) "The Mechanism and Path of High Economic Growth in Postwar Japan", Baiksans-Seodang Publishing, Seoul, The Academy of Korean Studiesed., *The Miracles and Crises of Asian Economies: A Historical Perspective*
- 11月 (その他) 「企業パラダイムの転換と新・中小企業政策」 『通産ジャーナル』通商産業省, 32巻11号
- 11月 (その他) 「後発の不利益と創造的適応」 『岩波講座世界歴史23 月報25』岩波書店
- 11月 (その他) 「株式市場: インターネットの普及と市場の効率化」 『Encarta 百科事典99 YearBook』マイクロソフト
- 12月 (その他) 「特集歴史としての明治 特集を編集するにあたって」(東京大学) 『社会科学研究』51巻1号
- 12月 (論文) 「日本が制限した<強制された自由貿易>と革新的企業組織」(東京大学) 『社会科学研究』51巻1号
- 12月 (その他) 「アジアの経済危機と日本経済—経済地球儀観測①」 『書斎の窓』有斐閣, 491号
- 12月 (その他) 「平和と文化—20世紀あと1年に想うこと」(角野栄子, 榎泰邦, 古川万太郎と座談会) 『明日の友』婦人の友社, 1999冬
- 12月 (その他) 「合評会記録: 東京大学社会科学研究所編『20世紀システム3 経済成長II 受容と対抗』(東京大学) 『社会科学研究』51巻1号

2000年

- 2月 (論文) 「中小企業政策の未来像」 『公正取引』公正取引協会, 592号

- 2月(その他)「大学変革期におけるビジネスチャンスとイノベーター」東北経済連合会『東経連』397号
- 2月(その他)「縮む日本経済—経済地球儀観測②」『書齋の窓』有斐閣, 492号
- 2月(その他)「百科で見る20世紀: 経済・産業」『百科で見る20世紀』(CD-ROM版), 日立デジタル出版社
- 2月(書評) P. シェアード著『企業メガ再編—: 新・日本型資本主義の幕開け』『エコノミスト』79巻7号
- 2月「大変革期におけるビジネスチャンスとイノベーター」『東経連』東北経済連合会, 397
- 3月(論文)「日本経済と規制緩和」有斐閣, 橋本壽朗・中川淳司編『規制緩和の政治経済学』
- 3月(論文) "The Two Upward Movements in Small and Medium Sized Firms Acting as the Driving Forces for High Economic Growth in Japan's Postwar Boom", 法政大学産業情報センター『グノーシス』Vol. 9
- 3月(その他)「ホームレスと街角の汚れ—経済地球儀観測③」『書齋の窓』有斐閣, 493号
- 3月(書評) 原田和明・宿輪純一『マネークライシス・エコノミー』『週間ポスト』32巻8号
- 3月(コメント)「2つの世紀末」(東京大学)『社会科学研究』51巻5・6合併号
- 3月(その他)「21世紀初頭を生き抜くエクセレントカンパニー」『エコノミスト』79巻12号
- 4-5月(招待報告)「公平か効率か」復旦大学日本研究中心主催第10回中日学術シンポジウム「現代日本政治経済システムと将来展望」(中国上海市)
- 4月(論文)「現代日本企業の最高管理層」(中国語) 陳建安編『日本の経済発展と労働問題』上海財經大學出版会, 179-215頁
- 4月(書評) "Toshiaki Tachibanaki (ed.) Who Runs Japanese Business?", *Business History*, Vol.42 No. 2, Frank Cass
- 4月(対談と座談)「日本における<適応と創造の仕組み>が1つの時代を終えた」(インタビュー)『今こそ, 経済学』(『エコノミスト臨時増刊』) 3444号
- 4月「橋本壽朗(経済学者の肖像)」『エコノミスト』78巻14号
- 4月(調査) 全国中小企業団体中央会『中央会21世紀ビジョン』(委員として作成に参加)
- 4月(その他)「日本経済黄金の1980年代と<失われた10年>の90年代」『世界大百科事典アルマナック』平凡社
- 4月(その他)「上海, 復旦大学, 日本櫻花以及日本研究」復旦大学日本研究中心『復旦大学日本研究中心成立十周年記念』
- 4月(その他)「大きいことは良いことか—経済地球儀観測④」『書齋の窓』有斐閣, 494号
- 5月(論文) "This Way, Entrepreneurs", *Look Japan* (Look Japan Co.), No.530
- 5月(論文)「重化学工業と独占」武田晴人・中林真幸編『展望日本歴史18近代の経済構造』東京堂出版, (補注を付して再録)
- 5月(論文)「独占と独占組織」武田晴人・中林真幸編『展望日本歴史18近代の経済構造』東京堂出版, (補注を付して再録)
- 5月(対談と座談)「合評会記録: 東京大学社会科学研究所編『20世紀システム5 国家の多様性と市場』」(東京大学)『社会科学研究』51巻5・6合併号
- 5月(対談と座談)「物流再構築の進展と国際海運サービス: 調査委員会討論」『海事産業研究所報』407号
- 5月(その他)「海に馴染み, 海を御する」『海事産業研究所報』海事産業研究所, 407号
- 6月(論文)「主力銀行体系と90年代的金融危機」(中国語)(載曉芙と共著) 楊棟梁主編『国際貨幣金融体系と東亞』天津人民出版社

- 6月 (論文) 「1955年」(中国語) 安場安吉・猪木武徳編『高速増長 日本経済史 8』生活・読書・報知三連書店
- 6月 (書評) 「安岡重明著『財閥経営の歴史的研究—所有と経営の国際比較』『経済史研究』(大阪経済大学日本経済史研究所) 4号
- 6月 (その他) 「中小企業フォーラム in 大阪パネルディスカッション (特集新時代の中小企業政策)」, 深谷隆司・太田房江・橋本壽朗 (他), 『マンスリーきんき』近畿通商産業局通商産業調査会近畿本部, 369
- 6月 (その他) 「遅咲きのスモール・イズ・ビューティフル—経済地球儀観測⑤」『書齋の窓』有斐閣, 495号
- 7月 (論文) 「日本のメインバンク・システムと1990年代のアジア金融危機」(戴暁芙と共著) (法政大学) 『経営志林』37巻2号
- 7月 (その他) 「デジタル革命とインターネット—経済地球儀観測⑥」『書齋の窓』有斐閣, 496号
- 7月 (その他) 「金融メガ統合の行方: 財閥溶解論の時代錯誤」『Encarta Year Book』
- 8月 (対談と座談) 「21世紀に向けた我が国造船業の課題と取り組み: 調査委員会討論」『海事産業研究所報』410号
- 9月 (学会報告) 「東アジアの相互依存を推進する力は何か」(招待報告) 南開大学日本研究中心主催 第2回国際シンポジウム
- 9月 (対談と座談) 「今後の外航海運行政について: 調査委員会討論」『海事産業研究所報』411号
- 9月 (その他) 「日本経済発展の象徴であった総合商社の凋落—経済地球儀観測⑦」『書齋の窓』有斐閣, 497号
- 10月 (論文) 「公平か効率か: 所得再配分政策としての運輸産業規制政策とその再編」(法政大学) 『経営志林』37巻3号
- 10月 (書評) 住友銀行史編纂委員会編『住友銀行百年史』『第12回 [優秀会社史賞] 選考報告書』(「優秀会社史賞」選考委員会)
- 10月 (書評) "Japan: the system that soured: the Rise and Fall of the Japanese Economic Miracle by Richard Katz", *Social Science Japan Journal* (Oxford University Press) Vol. 3 No. 2
- 10月 (その他) 「インフレの収束と企業経営—経済地球儀観測⑧」『書齋の窓』有斐閣, 498号
- 10月 (その他) 「収支相償: 政策金融と自己規律」『日経研月報』日本経済研究所, 268号
- 11月 (対談と座談) 「キャノンの物流: 調査委員会討論」『海事産業研究所報』413号
- 11月 (その他) 「江は流れた—産業革命と日本」『WEDGE』12巻11号
- 11月 (その他) 「国債累積で国の破産が起こる?!—経済地球儀観測⑨」『書齋の窓』有斐閣, 499号
- 11月 (その他) 「再び創造的適応を: 生産システムが崩れそうな時に」『日本経済研究センター会報』日本経済研究センター, 855号
- 12月 (論文) 「伝統的な産業集積にダイナミックな変化も」『商工ジャーナル』日本商工経済研究所, 26巻12号
- 12月 (論文) 「経済発展のための政府の役割: 利害調整政策からの転換を」『エコノミスト』78巻52号
- 12月 (対談と座談) 「マリンフォーラム2000: 21世紀の海事産業の進路を探る」『日本海事新聞』12月22日
- 12月 (その他) 「不老不死を求める消費者行動と消費の正義—経済地球儀観測⑩」『書齋の窓』有斐閣, 500号
- 12月 (その他) 「創造性の発揮は知恵の組合せ」中小企業庁編『中小企業飛躍の条件』同友館
- 12月 (その他) 「鶴のように瘦身の伝道師」『さんりん』三輪学苑, 20号

- 12月 (その他) 「欧州で見た海事クラスターアプローチの状況」『日本海事新聞』12月22日
- 2001年
- 1月 (書評) 「技術革新のシステムを根底から追求する：沼上幹『液晶ディスプレイの技術革新史－行為連鎖システムとしての技術』」『月刊デジタル百科』日立デジタル平凡社, 1・2月合併号
- 1月 (論文) 「変わりゆく環境に適応した創造的な経済活動が日本を救う：怒りほとばしる森嶋・小宮<論争>に学んで」『エコノミスト』79巻1号
- 1月 (論文) 「東アジアの国際協調を促す力は何か」(法政大学)『経営志林』37巻4号
- 1月 (その他) 「マリンフォーラム：マリタイムジャパンへの路」『海上の友』日本海事広報協会, 16巻15号, 12面
- 1月 (対談と座談) 「船舶管理の現場から：調査委員会討論」『海事産業研究所報』415号
- 2月 (その他) 「話題の本－『企業メガ再編』ポール・シェアード(本)」『エコノミスト』79巻7号
- 3月 (書評) 沼上幹著「液晶ディスプレイの技術革新史」『社会経済史学』66巻6号
- 3月 (論文) 「19世紀末英国のデフレに似た日本の現状：3つの歴史的な物価変動を比較する」『エコノミスト』79巻13号
- 3月 (対談と座談) 「これからの海事関連領域の要員確保について」『海事産業研究所報』417号
- 3月 (その他) 「1,000ドル経済の苦悶：第一次産業国化現象と中央アジアのバザールの熱気」『書斎の窓』有斐閣, 502号
- 3月 (その他) 「欧州で見た海事クラスター・アプローチ」『海洋展望』海洋会, 17号
- 3月 (調査) 海事産業研究所『欧州海事クラスター調査報告書』(調査団団長として作成, 取りまとめに参加)
- 3月 (調査) 日本造船研究会『海洋汚染防止に関する検討：油タンカーのダブルハル化に関する調査研究』第76基準研究部会, (ワーキンググループ主査として報告を取りまとめ)
- 3月 (その他) マリンフォーラム2000「21世紀の海事産業の針路を探る・・・マリタイムジャパンへの路」の基調講演から欧州で見た海事クラスター・アプローチの状況, 『海洋展望』海洋会, 17
- 4月 (その他) 「時代の文脈と巨大科学」(特集 あなたが考える科学とは)『科学』岩波書店, 71巻4・5号
- 4月 (座談会) 「海事社会の人づくりを中心とした課題と展望－欧州における海事クラスターの状況を踏まえて」, 橋本壽朗・稲富精之助・川村尙(他)
- 4月 (その他) 「できないシステム転換－対談・段階の世代の生き様, 死に様で決まる」(特集・大手術始まる, 日本経済入門－日米共同「世界経済救出作戦」の成否), 橋本壽朗, 川勝平太, 『エコノミスト』79巻15号
- 5月 (その他) 「調査委員会・討論青山抱民氏の「K & A社における解撤業」について, の報告を巡る出席委員, オブザーバーによる意見交換」青山抱民・橋本壽朗・鴻常夫(他)『海事産業研究所報』海事産業研究所, 419号
- 7月 (論文) 「戦時計画経済と企業経営：日本電気の事例に基づいて－経済の計画化は企業経営原則にいかなるダメージを与えたか」(法政大学)『経営志林』38巻2号
- 7月 (その他) 「話題の本－『人口ピラミッドがひっくり返るとき』ポール・ウォーレス, 高橋健次訳(本)」『エコノミスト』79巻29号
- 7月 (その他) 「産業論壇 日米経済の縮図としてのプロ野球」『産業動向』国民経済研究協会, 619
- 8月 (その他) 「日本経済の未来を読む－なぜ停滞は長引くのか(猛暑に読む頭のなかも熱くする30冊)」『エコノミスト』79巻35号
- 9月 (書評) 宇田川勝・橋川武郎・新宅純二郎編『日本の企業間競争』『経営史学』36巻2号

- 9月 (その他) 「話題の本ー『インターネット不況』マイケル・J・マンデル, 石崎昭彦訳 (本)」
『エコノミスト』79巻39号
- 9月 (その他) 「日本経済破綻の不安ー「首切り」より「賃下げ」を, まずは国家公務員の給与切り下げから」(特集・小泉デフレの最悪シナリオ) 『エコノミスト』79巻37号
- 9月 (招待報告) 「1990年代における日本経済の構造転換」2001 Korean Development Economics Association Korea-Japan Conference on Economic Development Strategies of Japan and Korea for the 21th Century, 21st, September, 2001, Seoul における報告
- 10月 (論文) 「グローバリゼーションと日本経済 (1)」(法政大学) 『経営志林』38巻3号
- 10月 (論文) 「韓国と日本の自動車産業における革新ネットワーク比較研究 (1)」崔弘奉, 洪長杓, 橋本壽朗, (法政大学) 『経営志林』38巻3号
- 11月 (その他) 「産業構造改革ー日本に満ちている黒字事業の芽に資金パイプを (恐慌襲来日本)」
『エコノミスト』臨時増刊, 11月12日 (緊急出版・テロルの世紀, 大恐慌の不安)
- 12月 (その他) 「検証「ジャパン・アズ・ワーストワン」ーいま改めて読む『ジャパン・アズ・ナンバーワン』に書かれた予言」 『エコノミスト』79巻55号
- 12月 (その他) 「「勝ち組」と「負け組」の分水嶺」(特集・本当の「勝ち組」ー中間決算総まとめ),
『エコノミスト』79巻51号

(故橋本寿朗氏の略歴, 業績は法政大学経営学部が平成14年2月1日催した「橋本寿朗さんのお別れの会」用に作成した資料を, 東京大学大学院経済学研究科武田晴人研究室において, 橋本先生にゆかりの深い大学院生が中心になって精査し, 掲載した。)